

様式2

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 静岡県三島市立向山小学校

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	静岡県三島市立向山小学校5.6年生 212名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間）行事名（「自己の生き方を考えよう」） ② その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	北京オリンピックのオリンピックであった元バレーボール選手の齋藤信治さんのバレーボールの実技（サーブ、スパイク等）を見たり、体で感じたりする。また、講演をしていただくことを通して、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成を図る。
5 取組内容	1 オリンピアン元バレーボール選手の齋藤信治さんの実技の紹介 ・パス、スパイク、サーブの実技 ・サーブのすごさを実感する。 ※パスやスパイクの時には、地域のバレーボール少年団に加入している児童がいるので、お手伝いをしてもらう。 ※5、6年、6学級から1名ずつ代表者が出てきて、齋藤さんの打つサーブをキャッチしてみる。    

	2 齋藤信治さんの講演を聴く 演題：「オリンピックへの道のり」～あきらめない心～ ・バレーボールを始めたきっかけ ・バレーボールを続けてきて、得たもの ・苦しかったことや楽しかったこと、喜び ・日の丸を背負って出場した大会から得たもの（北京 OP を含む） ※スポーツの素晴らしさやオリンピックへのあこがれを抱く。  
6 主な成果	○元オリンピック選手（齋藤信治さん）のハイレベルなプレーを見たり、代表児童がプレーに接したりすることを通して、オリンピックがもつ息づかいを肌で実感することができた。 ○元オリンピック選手（齋藤信治さん）の講演を聴いて、齋藤さんのお話の主題「あきらめない心」が、生きた知識や感動として心に残った子が多かった。 ○オリンピックを身近に感じ、2020東京オリンピックを楽しみにする子が増えた。 
7実践において工夫した点 （事業の特色）	○単に、元オリンピック選手の講演を聴くというだけではなく、子どもと接する場面をつくり、事業を盛り上げた。 ○講演会では、子どもたちの話を聴く位置と、齋藤さん講演する立ち位置の工夫をし、その距離感を大切にした。 ○刈光ック・パ・リ光ック・ムーブ M/T 展開事業そのものを盛り上げるために、体育館入り口に展開事業の表示をしたり、東京 2020 エンブレムを講演会場に設置したりした。 ○学校ブログに刈光ック・パ・リ光ック・ムーブ M/T 展開事業を掲載し、保護者地域はもとより、日本国内にも世界にも発信をした。 ○バレーボールをはじめ、オリンピック競技その他に関する書籍を購入し事業を盛り上げた。 ○事業日には、6 年生が進学する中郷中学校の先生にも来ていただき事業内容の共有化を図った。（中郷中学校もまた、刈光ック・パ・リ光ック教育推進校） ○三島市の教育総務課を通して、報道依頼をかけ事業の宣伝をした。

8主な課題等	○講演者が会社員であり、事業日を選定するにあたって、所属する会社が理解のある会社であったので、事業の平日開催ができたが、当初ご本人からは、土曜日または日曜日がよいというお話であった。学校としては、土曜日開催(土曜参観日)も視野に入れて計画を立てていくことも考えて行く必要がある。 ○この事業の対象は子ども中心ではあるが、保護者や地域の方々も広げることも計画の選択肢として考えたい。
9来年度以降の実施予定	○本年度は、元オリンピックの齋藤さんであったが、来年度はパラリンピック関係の方を招聘することも視野に入れて考えていきたい。 ○2020 東京オリンピックでは、伊豆市を中心に自転車競技が行われるので、この種目関連の方も考えていきたい。